

那加三だより

那加第三小学校
学校だより
R4. 5. 24



学校の教育目標 「かしこく ゆたかに たくましく」

←学校ホームページで、子ども達の姿をご覧ください <http://edu-kakamigahara.com/naka3sho/>

地域の方からうれしい声が届きました

5月のある日、朝の旗当番に向かう道で、地域の方から、次のように声をかけていただきました。

『先生、那加三の子はなんて可愛いんでしょう。家の前の道ですれ違うと、いつもあいさつをしてくれるし、学校の帰りにも「さようなら」って、優しく言ってくれます。

家の前を通る子たちに違うところで会ったので、あいさつをして「おばちゃんのこと、知ってる？」って聞いてみたら、「知ってる、知っている」で言ってくれて、覚えてもらえて、すごくうれしかったですよ。

帰りに、一緒に手をつなごうとしてくれることもあるし、本当にかわいいですね。みんな、あいさつをすると返してくれるので、本当に那加三の子は、いい子たちばかりです。』

子どもたちのあいさつは、こんなにも地域の方を、【うれしい気持ち】にしていました。毎日の登下校の中で、子どもたちの素直な心が、那加三小の地域を温かくしていることを知り、職員一同、本当に嬉しく感じました。こうしたよい関係が築かれたのは、おそらく、

- ・地域の方から、子どもたちへの温かな、声かけがあったこと。
- ・子どもたちに、笑顔で接してくださっていること
- ・子どもの下校時間に合わせて、外に立ってくださっていること

など、地域の方の温かい見守りがあってのことだと思われます。地域の方の温かさと、子どもたちの素直な心がつながって、【うれしい気持ち】が生まれています。こうした、心のキャッチボールをこれからも大切にしたいと、紹介させていただきました。

文面から地域の方の嬉しい気持ちは伝わりますが、会って話されたときの、この方の話しぶりや笑顔から本当に喜んでみえるのが伝わりました。文章では紹介できないことが残念なほどです。

あいさつの声が増えていると聞くようになりました



昨年度の終わりごろから、保護者の方から、「子どもたちが、あいさつをしてくれることが増えました」、「旗当番をしていて、前よりもあいさつが返ってきます。」など、よい姿をほめていただくことが増えました。

声を出すことへの躊躇が少なくなってきたことや、よいあいさつ習慣が少しずつ育ってきたことを感じます。

旗当番の保護者の皆様からのあいさつのお声かけも、子どもたちのよい習慣作りの一助となっています。

いつも、本当にありがとうございます。

(文責 校長 加藤浩幸)